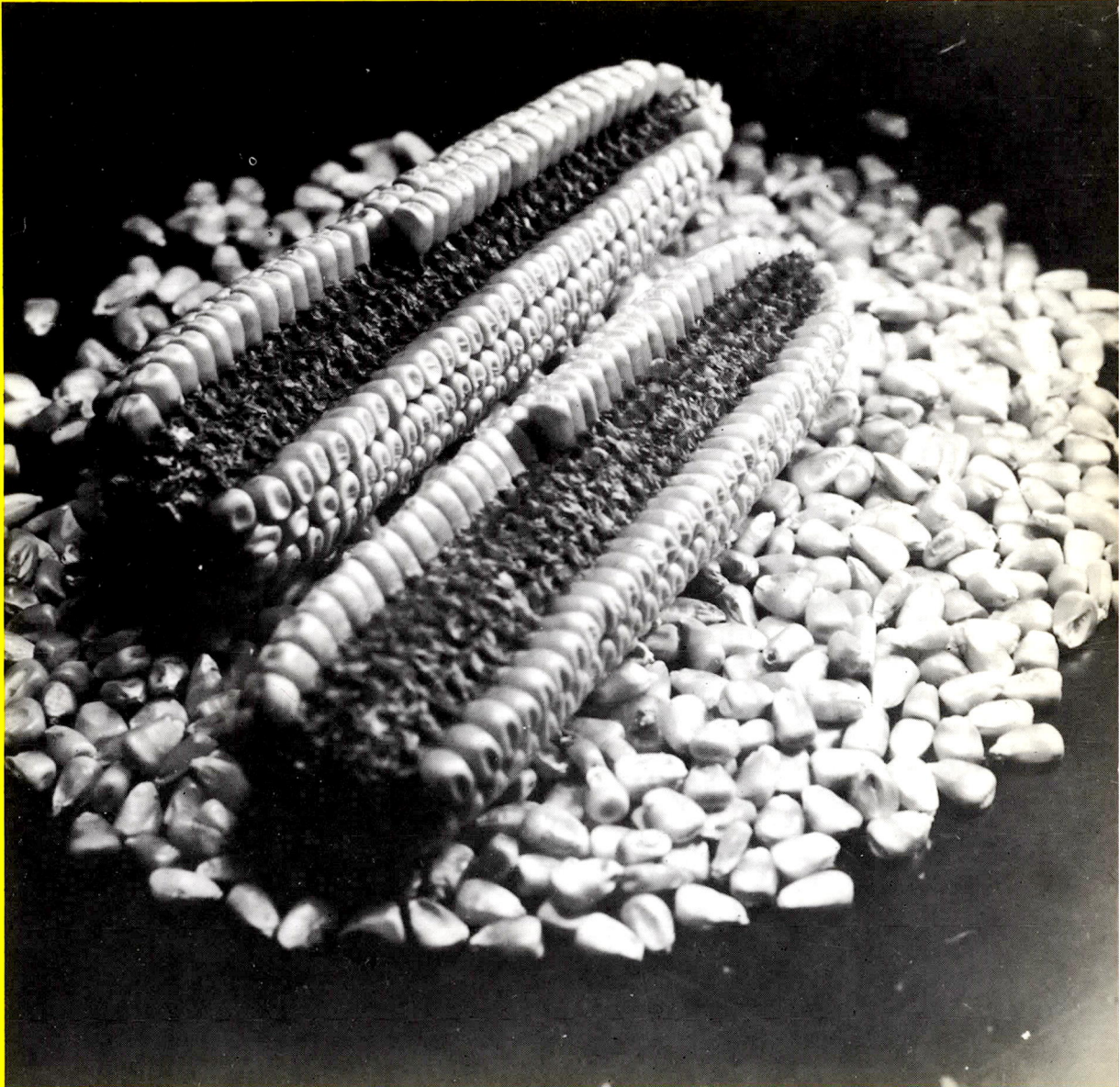


# 牧草と園藝



新系統紹介

サイレージ用F<sub>1</sub>トウモロコシ

# パイオニアA号 (P3732)

新系統

## 来歴及び経過

米国パイオニア社で育成され、昭和52年より弊社千葉研究農場、中央研究農場でテストを開始しました。

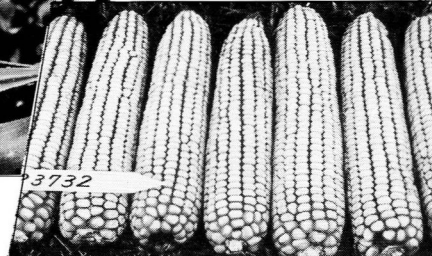
千葉研究農場における昭和52～53年の2カ年の試験結果より、極早生品種としては際立った耐病性をしめし、雌穂の揃性も優れ、昭和54～56年の3カ年にわたって各地現地試験、公的試験、農家栽培を重ね、その結果P3715と比較し、特性面では格段優れていることが確認され、新系統として今春より販売することに致しました。

## 品種特性

**パイオニアA号**  
P3732 (RM110) 極早生

**交配様式 単交配**  
育成地におけるRM 107

- 1. 早晩性** P3715と比較し、絹糸抽出期では1～2日早い、サイレージの収穫適期では1～3日晩生となり、収穫適期の幅が長い特性を有します。
- 2. 初期生育** 低温発芽性は極良好で、初期生育も良好です。
- 3. 耐病性** ゴマハガレ病、黒穂病ともに強度な抵抗性をしめし、温暖地での短期間栽培適品種としても活用が期待されます。
- 4. 草姿** やや短稈で葉幅がせまく、全体的にスリムな印象を与えますが、雌穂の揃性子実の登熟性は極めて良好で、立派な雌穂が形成されます。
- 5. 緑度保持** P3715が下葉の枯上りが早いのに対し、耐病性とあいまって緑度保持期間が長く、優れたサイレージ適性をそなえています。
- 6. 耐倒伏性** P3715と同程度の耐倒伏性をしめし、倒伏抵抗性は強と判定されます。
- 7. 雌穂** 稔性・揃性ともに極く優れ、総乾物中に占る雌穂割合が高く、高カロリー・サイレージの調製にも好適です。
- 8. 収量性** 草姿が若干スリムなため生収量ではP3715と同程度ですが、風乾物あるいはTDN収量では優れ、高冷・寒冷地帯での安定多収品種、温暖地での短期間あるいは二期作安定多収品種として広汎な活用が可能です。



## パイオニアA号 (P3732) の試験成績

＝府県5カ所における適応性検定によるP3715との比較＝  
昭和54年関東飼料作物研究会、発表成績より抜粋

### (1) 耐病性 評点基準(5甚～0点)

系統名	ゴマハガレ病					ススモン病		黒穂病(%)					
	岡山	千葉	栃木	岩手	千葉*	判定	千葉	岩手	千葉	栃木	岩手	千葉+栃木**	判定
P3732	0	0	1.5	0.2	1.5	極強	0	0.5	0	0	0	0	極強
P3715	0	0	0.9	0.1	1.3	極強	0	0.3	0.6	1.6	0	0.7	強

註) \* 晩播(8月播)による耐病性検定  
\*\* 評点変換値

### (2) 収量性 (kg/10a, %)

系統名	風乾物収量						TDN収量					
	岡山	千葉	栃木	岩手	平均	比率	岡山	千葉	栃木	岩手	平均	比率
P3732	1,682	1,263	1,343	1,593	1,470	103	1,136	914	966	1,169	1,046	102
P3715	1,690	1,305	1,323	1,418	1,434	100	1,142	936	960	1,052	1,023	100

### ご注意

東北地方はP3715も継続販売致しております。